

# 新たな人口減少対策アクションプラン2020

---

2020年(令和2年)3月  
福山市企画財政局  
企画政策部企画政策課

# 新たな人口減少対策について

新たな人口減少対策では、データに基づき、進学・就職や結婚・出産など人生の転機ごとに**9つの人物像**を設定し、産業界や金融機関、大学、市民代表と連携して、まずは現役世代を減らさない取組を進めます。

ペルソナ

2040年の  
目標

多様なライフスタイルが  
実現できるまち

チャレンジへの選択肢がたくさんある

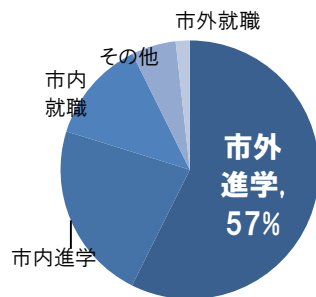
希望のライフスタイルへのサポート

多様性を尊重しあえる心

## ライフステージごとの課題

### 進学時

高校生の進学/就職状況



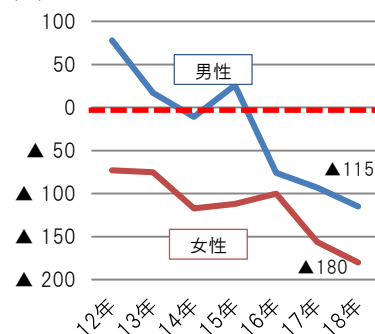
出所: 広島県学校基本調査, 高校生進学先調査(福山市)から作成

#### 進学時の転出超過

- ・高校生の約6割が市外に進学(うち4割が大学)

### 就職期

(人) 20~24歳 転出入増減



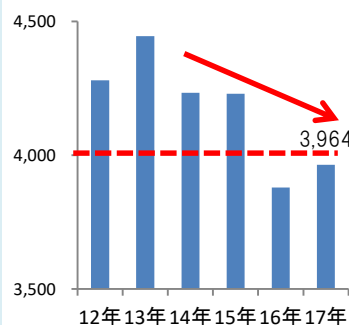
出所: 住民基本台帳を基に作成

#### 就職期における転出超過

- ・20代前半で転出が増加傾向, 20代後半以降で外から呼び込む力が低下

### 結婚・出産

(人) 出生数



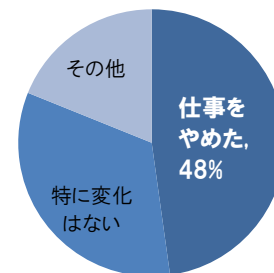
出所: 厚生労働省「人口動態調査(確定数)」から作成

#### 出生数の減少

- ・出生数が4,000人を下回る
- ・2012年以降, 自然減が継続

### 子育て

結婚や出産後の仕事の変化



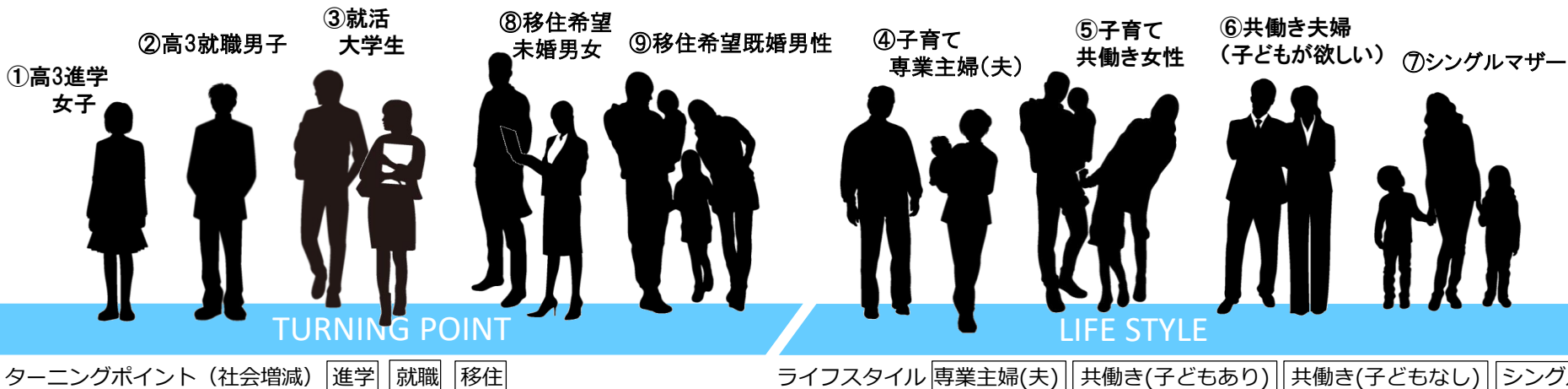
出所: 「市政に対するニーズ把握のための定量調査(WEBアンケート)」から作成

#### 子育てと仕事の両立に対する負担

- ・5割の女性が結婚や出産を機に退職

# 1 政策ターゲット(9つの<sup>ペルソナ</sup>人物像)の設定

人口減少対策を 3つのターニングポイント と 4つのライフスタイル で捉える



## 9つのペルソナを設定

### 重点的に取り組むペルソナ

#### 福山で暮らす“未来を描く”



① 高3進学女子

キャリアデザイン×ライフデザインの構築支援  
地元定着の促進

#### 企業と学生が“出会う”



③ 就活大学生

市内企業とのマッチング強化  
働きやすい職場環境づくりの推進

#### 子どもの成長に“幸せ”を感じる



⑤ 子育て共働き女性

子育てサポートの充実

#### 妊娠・出産・子育ての“不安解消”



⑥ 共働き夫婦(子どもが欲しい)

子育てにかかる負担の軽減  
妊娠と仕事の両立支援

## 2 目標実現のための強化策

### ペルソナの満足度を高める分野ごとの強化策を構築

みんなの働き方が見つかるまち

#### 【ワークプレイス改革】

- ・オープンコラボスペースの整備
- ・企業と学生のマッチング改革 など

#### 【ワークスタイル変革】

- ・ワーケーション, プチ勤務 など

みんなの安心が見つかるまち

#### 【心と体のリフレッシュ】

- ・子育てママのリフレッシュ (子育てイベント等の充実)
- ・男性の働き方改革No1都市 など

#### 【ライフデザインの支援】

- ・ネウボラを核とした安心できる子育てライフ
- ・子育て期における経済支援 (子ども医療費助成) など

#### 【安定した医療・福祉体制の確保】

- ・医療・介護・保育スタッフの確保 など

みんなの誇りが見つかるまち

#### 【多様な学びの場と郷土愛の創出】

- ・遠隔教育・サテライト教育の強化 (福山で若者・社会人が望む教育が受けられる)
- ・学校教育での郷土愛の育成強化 など

#### 【新しい価値を生む都市づくり】

- ・ホンモノの芸術文化や異文化に触れる機会の充実
- ・まるごと実験都市ふくやまの推進 など

— 施策効果を高める共通項 —

テクノロジー (AI, IoT等), 教育, 地域コミュニティ

## 3 推進体制

### 産学金官民で役割分担, そして、チャレンジ!

実行組織を  
設置

産

学

金

官

民

みんなのライフスタイル応援会議



実行(集中的な取組)

実行の“輪”を拡大



情報発信力を持つ

地域おこし協力隊員



取組を市内外へ発信

2020年度  
新たに着任

# 4 人口減少対策ロードマップ

成果指標 (2021年度)

## 全体指標

「合計特殊出生率 (1.67 (2017))  
と市民希望出生率 (1.97) の差を  
縮める」

2018~

- 強化策の提示
- ペルソナごとの施策立案
- 一部試行実施

- 強化策提示
- ペルソナごとの施策立案 (事業計画作成)
- 一部試行実施
- 予算要求

2019~2021

- 強化策の推進 (3か年)
- ペルソナごとに施策Check (PDCA)

- 強化策の実施
- アクションプランの策定
- 応援会議の立ち上げ

- 強化策の改善実施
- 9つのペルソナごとの事業計画に基づき施策Check (中期計画事業)

- 強化策の実施 (中期計画事業)
- 9つのペルソナごとの事業計画に基づき施策Check (短期計画事業)
- AIによる施策の再構築

2022~

- 強化策全体の効果検証
- ペルソナの再設定

- 次期強化策の推進
- 次期強化策・ペルソナの再設定
- ペルソナごとの効果検証

事業計画作成・一部試行実施

実施

実施 (見直し)

改善実施

効果検証

再構築・実施

2018.9

2019

2020

2021

2022

2023以降

## 5 重点ペルソナに対する施策

### 重点的に取り組むペルソナ



① 高3進学女子



③ 就活大学生



⑤ 子育て共働き女性



⑥ 共働き夫婦  
(子どもが欲しい)

### ○ 満足度を高める3つの柱 ~みんなのライフスタイル応援会議で決定~

- ① 働き方改革の推進    ② 男性の育児参加促進    ③ 地域の子ども・子育て支援の充実

#### ① 働き方改革の推進

##### ・ 経営者意識改革支援事業

業種や規模に応じた働き方改革の実践に向けた  
個社支援の実施

##### ・ 働き方改革相談窓口の設置

国の「働き方改革推進支援センター」の社会保険  
労務士等と連携した相談体制の構築

## ・子育てにやさしい企業の発信

ふくやまワーク・ライフ・バランス認定制度  
において、子育てにやさしい企業の認定・発信

## ・女性向け合同企業説明会

子育てにやさしい企業を中心とした女性向け  
合同企業説明会の実施

## ② 男性の育児参加促進

### ・子育てパパ活躍ウィーク

- ・市内企業における子育て中の従業員の休暇取得や  
早めの退社を促進
- ・企業・団体による親子で参加できるイベントの開催



## ③ 地域の子ども・子育て支援の充実

### ・企業・地域のマッチング支援

- ・地域おこし協力隊員により、企業や地域（NPO）が行う子育て  
支援につながる取組を収集し、課題を抱える地域(NPO) に対  
して、企業とのマッチングを推進
- ・企業や地域（NPO）が連携した魅力的な取組の情報発信



### Step1「情報収集」

地域(NPO)が、現在、実施してい  
る取組の情報収集

### Step2「マッチング支援」

地域おこし協力隊員の情報発信力を活用  
し、人材や活動資金などに課題を抱えて  
いる地域(NPO)と地域貢献を検討する企  
業のマッチングを推進

### Step3「取組の輪の拡大」

企業・地域(NPO)が連携した優良  
事例等の情報発信を通じて、更なる  
連携を推進



# 6 2020年度に強化する取組

## ○ワーケーションふくやま

- ・首都圏のクリエイティブ人材などに、福山で働き・暮らし・交流する体験の場を提供
- ・企業・地域との交流を通じて、企業や地域が抱える課題の解決を促進

### ※ 本市がめざすワーケーション

「work(仕事)+vacation(休暇)」に加えて、企業や地域との交流による「communication(対話)」を促進し、「innovation(刷新)」を創出

## ○民間ビッグデータの活用による移住促進

- ・民間ビッグデータの分析によるターゲットの明確化
- ・ターゲットに応じたWeb広告の配信



## ○施策のCheck・再構築

### A Iによる人口減少対策の再構築

- ・京都大学や民間企業と連携し、施策構築のプロセスにAI技術を導入
- ・AIによって、起こり得る未来を分析し、人口減少対策を再構築

#### Step1「情報収集」

- ・ペルソナとのワークショップ
- ・アンケート結果などの各種データの整理

#### Step2「因果関係整理」

- ・主なペルソナごとに因果関係をフロー化

#### Step3「戦略検討」

- ・施策の選択によって、ペルソナに起こりうる未来を予測

### ペルソナインタビュー

データに基づき設定したペルソナ情報を補完するため、ペルソナへのインタビューを実施

### 効果検証

戦略推進マネージャーと連携して、施策や設定したペルソナの効果検証を実施



ペルソナ人物像

施策方針

データに基づく  
ペルソナの声

データに基づく  
ペルソナの声

ペルソナの満足度を高める主な施策

年齢：  
性別：  
職業等：  
子ども：  
住まい：

ペルソナの  
詳細

詳細

# 【重点】ペルソナ① 高3進学女子

市外大学への進学を考えている  
高校3年生の女子

## 福山で暮らす“未来を描く”



A. 広島市や岡山市など  
比較的大きな地方都市の  
大学へ進学したい。

B. 駅前に友達と遊んだり  
買い物できる場所が少ない。

年齢：18歳  
性別：女性（未婚）  
職業等：高校生（大学受験を控えている）  
子ども：なし  
住まい：福山市に在住（実家）

### キャリアデザイン×ライフデザインの構築支援

#### ○グローバル人材育成事業

- 高校生に地元企業の良さや課題を学ぶ場を提供
- 地元企業の良さ、自らが探究した課題の解決策をまとめ、市内の各高校への情報共有

#### ○若年者雇用対策事業（出前講座）

- 産業支援コーディネーターによる職業観の醸成や地元企業の認知度向上を目的とした講座の開催

### 地元定着の促進

#### ○市外大学への通学支援

- 市内の就職関連イベント等に参加することを条件とした市内から市外大学に通う大学生に対する通学費の補助

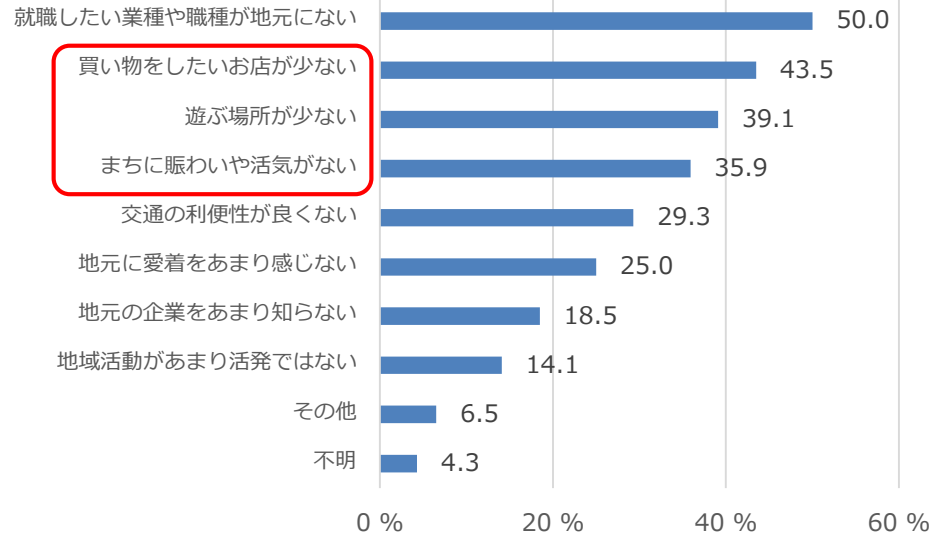
詳細

福山市在住 高校3年生の進路状況

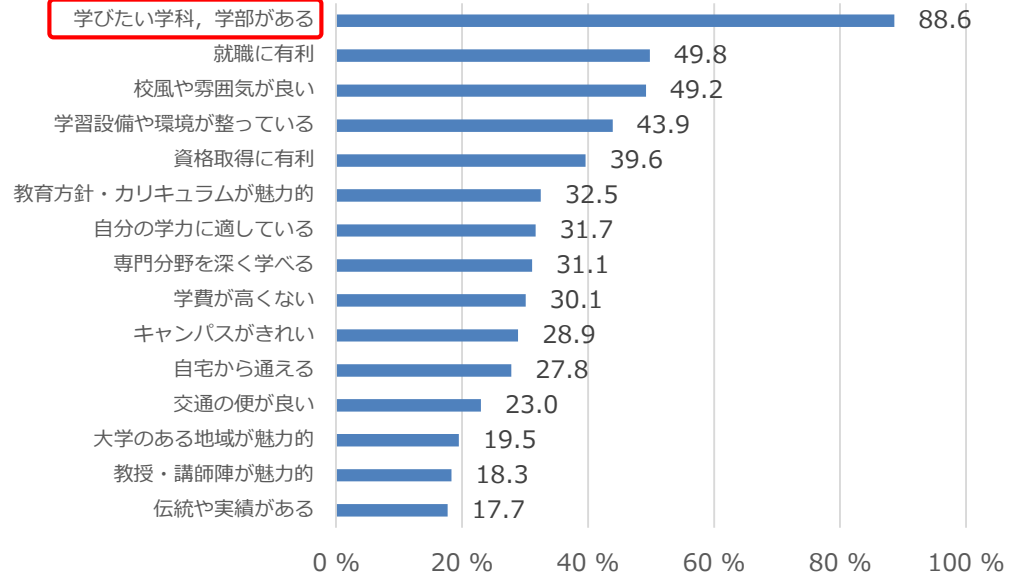
			女子高校生		男子高校生	
進学	大学等	市内	12.3%	280人	12.2%	280人
		市外	44.4%	1,011人	44.1%	1,009人
	専門学校	25.8%	588人	20.7%	474人	
就職	市内	10.2%	232人	15.7%	359人	
	市外	0.8%	19人	2.7%	62人	
その他			6.5%	148人	4.6%	105人
合計			100%	2,278人	100%	2,289人

※「平成27年国勢調査人口等基本集計」などを基に推計

将来、住んでいる町に戻って来たくない理由



志望校検討で重視すること (上位15項目)



※「高校生の「進学・就職」に関する意識調査」(2015年)から市内高校生、女性の回答を集計

ペルソナの声

○福山のまちについて

- ・駅前を活性化させてほしい。
- ・都会に比べて遊ぶ場所が少ないので、近くのまちに遊びに行っている。

○福山で働くことについて

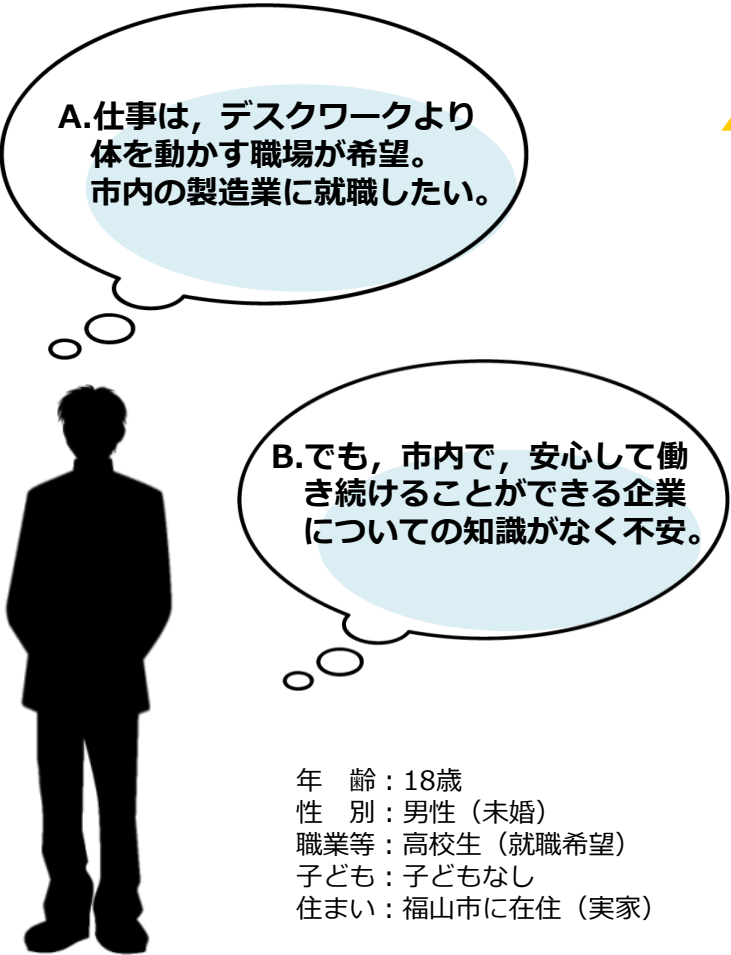
- ・大企業以外に福山市内の企業をあまり知らない。
- ・製造業など男性職場のイメージが強く、女性が働いているイメージがない。
- ・職場環境が良ければ福山で働きたい。

※ペルソナモニターインタビュー (2019年7月) から

# ペルソナ② 高3就職男子

地元企業への就職を予定している  
高校3年生の男子

## 福山で暮らす“未来を描く”



A.仕事は、デスクワークより  
体を動かす職場が希望。  
市内の製造業に就職したい。

B.でも、市内で、安心して働  
き続けることができる企業  
についての知識がなく不安。

年 齢：18歳  
性 別：男性（未婚）  
職業等：高校生（就職希望）  
子ども：子どもなし  
住まい：福山市に在住（実家）

### 市内企業の認知度向上・職業観の醸成

#### ○ 企業見学バスツアー

- 若者の地元企業への認知度向上，働きたい業種・職種とのミスマッチを抑制するため，就職に強い影響力を持つ保護者に対する市内企業見学バスツアーを実施

#### ○ ゲンバ男子 官民連携

- 製造業の現場で働く若者を専用サイトを通じて紹介し，製造業界における若者の人材確保・イメージアップを促進

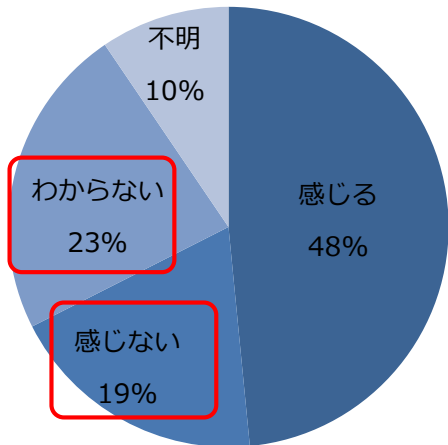
詳細

### 福山市在住 高校3年生の進路状況

			女子高校生		男子高校生	
進学	大学等	市内	12.3%	280人	12.2%	280人
		市外	44.4%	1,011人	44.1%	1,009人
	専門学校	25.8%	588人	20.7%	474人	
就職	市内	10.2%	232人	15.7%	359人	
	市外	0.8%	19人	2.7%	62人	
その他			6.5%	148人	4.6%	105人
合計			100%	2,278人	100%	2,289人

※「平成27年国勢調査人口等基本集計」などを基に推計

### 福山市への愛着

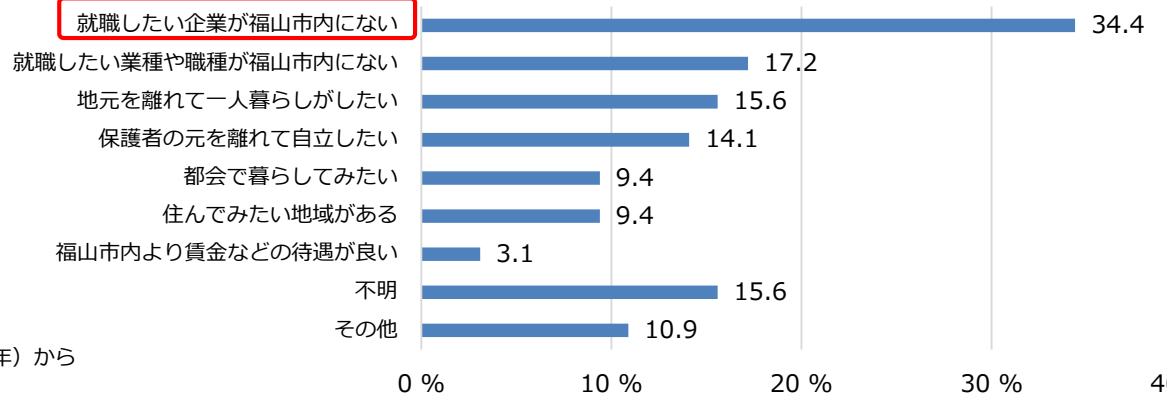


※「高校生の「進学・就職」に関する意識調査」（2015年）から市内高校生、男性の回答を集計

### 将来、働きたい業種（上位10項目）



### 市外に就職希望の理由



# 【重点】ペルソナ③ 就活大学生

就職で福山に戻るかどうか  
悩んでいる 大学3年生

## 企業と学生が“出会う”

A. 親からは福山に戻ってほしい  
と言われているけど、地元企  
業のことがわからなくて不安。

B. 働くなれば福利厚生が充実  
している職場で働きたい。

C. 現在住んでいるまちの方  
が、福山より都会で  
楽しい。

年 齢：21歳  
性 別：男女（未婚）  
職業等：大学生（就職活動中）  
子ども：子どもなし  
住まい：福山市出身  
市外に在住（賃貸住宅）

### 市内企業とのマッチング強化

#### ○ サマーツアー

- 市外大学に通う大学生等を対象とした企業訪問やインターンシップ、企業若手社員・人事担当者との交流会などを行うツアーの開催

#### ○ 企業研究会

- 都市圏等において、市外大学生を主な対象とした学生と企業との交流会の開催

### 働きやすい職場環境づくりの推進

#### ○ 経営者意識改革支援事業 官民連携

- 働き方改革のノウハウがなく、働き方改革を実践できていない企業に対して、有識者による個社支援を実施し、若者が希望する職場環境の整備を推進
- 個社支援を通じて実践された働き方改革の事例を発信し、市内企業への普及を促進

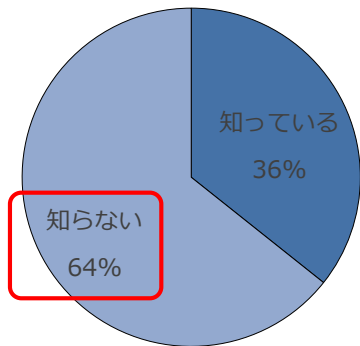
詳細

### 市外大学などへ進学した福山市出身者の 地元での就職希望状況

	女子大学生		男子大学生		合計	
	割合	人数	割合	人数	割合	人数
福山市に戻ってきたい	17.8%	360人	17.2%	347人	35.0%	707人
わからない	19.4%	393人	20.7%	418人	40.1%	811人
福山市に戻ってきたくない	12.8%	258人	12.1%	244人	24.9%	502人
合計	50.0%	1,011人	50.0%	1,009人	100%	2,020人

※「平成27年国勢調査人口等基本集計」などを基に推計

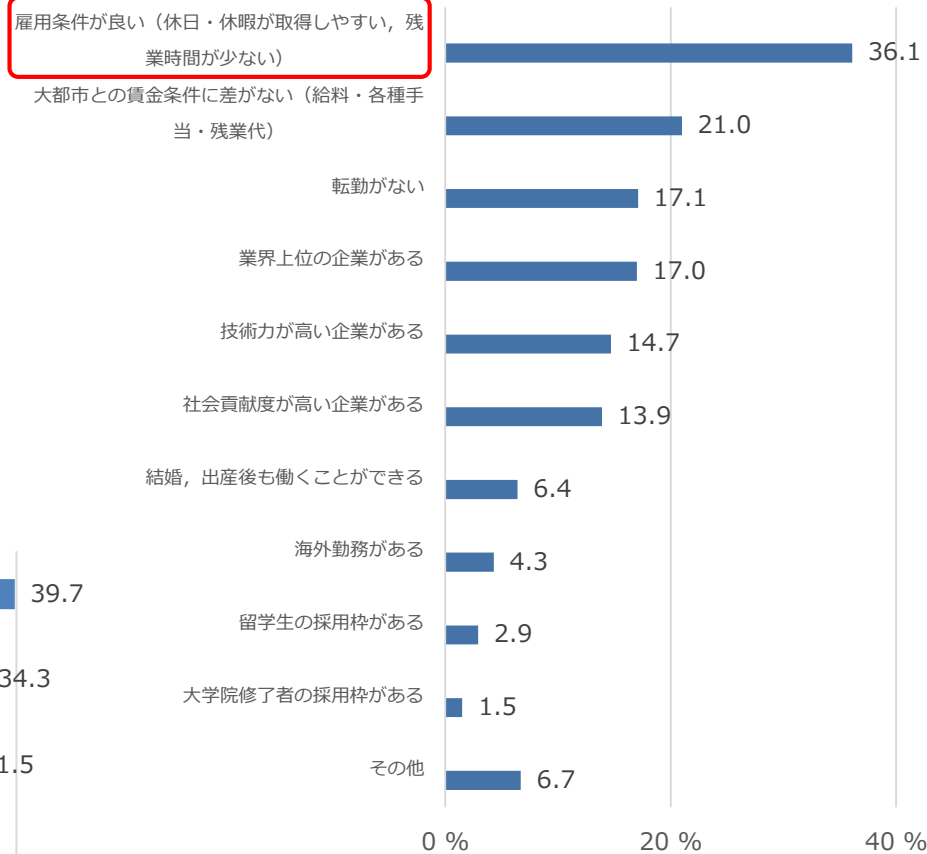
### 市内企業の認知度



### 就職先地域の選択理由



### 企業に求める環境条件



### ペルソナの声

○福山の企業について

- ・福山市の企業は首都圏で知名度が低く、どんな企業があるか知らない。
- ・職場環境が分からず、働くイメージが湧かない。

○就職したい企業の職場環境について

- ・育児休暇などの福利厚生が充実している企業で働きたい。

※ペルソナモニターインタビュー（2019年7月）から



# ペルソナ④ 子育て専業主婦(夫)

出産を機に退職した25~39歳  
子育て中の専業主婦(夫)

## みんなの“働きたい”を応援

A. 子どもに何かあっても夫(妻)は休んでくれないので、仕事を辞めた。

B. 子育てが少し落ち着いたらお小遣いや生活費の助けになる程度の仕事をしたい。

C. 2人目がほしいけど、体と心、そして、自分の時間を持ってないことが不安。

年齢：31歳  
性別：男女(既婚)  
職業等：専業主婦(夫)  
子ども：1人(乳幼児)  
住まい：福山市に在住

詳細

### 働きやすい職場環境づくりの推進

#### ○ 子育てにやさしい企業の発信

- ▶ ふくやまワーク・ライフ・バランス認定制度を見直し、子育てにやさしい企業の認定・発信

#### ○ 経営者意識改革支援事業 官民連携

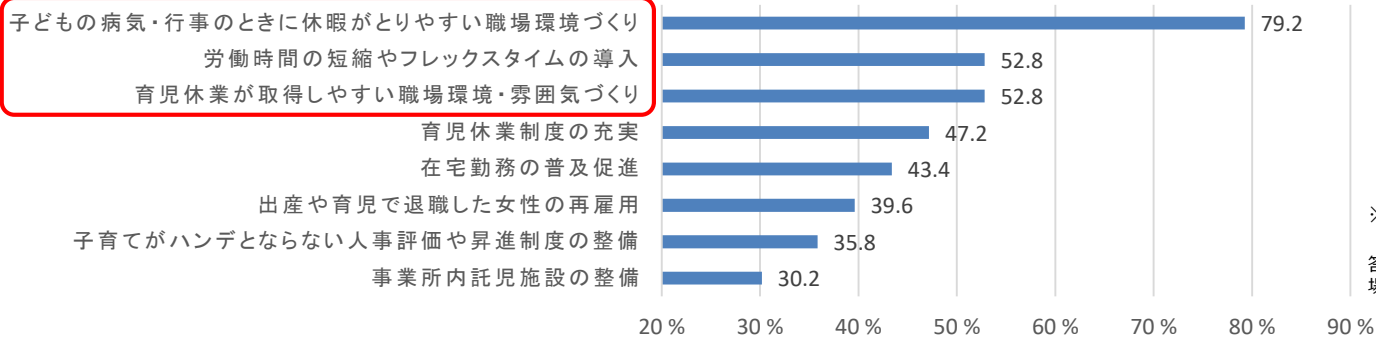
- ▶ 働き方改革のノウハウがなく、働き方改革を実践できていない企業に対して、有識者による個社支援を実施し、若者が希望する職場環境の整備を推進
- ▶ 個社支援を通じて実践された働き方改革の事例を発信し、市内企業への普及を促進

### 子育て女性の再就職支援

#### ○ 女性向け合同企業説明会

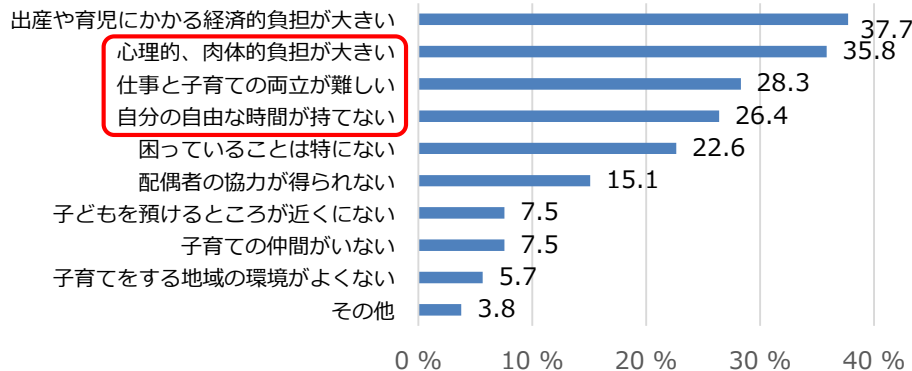
- ▶ ふくやまワーク・ライフ・バランス認定において認定した「子育てにやさしい企業」を中心とした女性向け合同企業説明会の開催

## 子育てと仕事の両立のために企業に期待すること



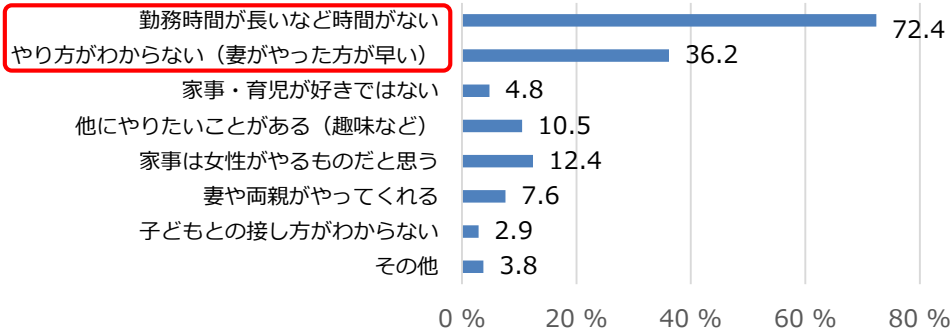
※「市政に対するニーズ把握のための定量調査」(2018年)から福山市在住、既婚、子どもありの回答者を集計(標本数が少ないため参考値。以下同調査の場合は同様)

## 子育てをする上での不安や悩み



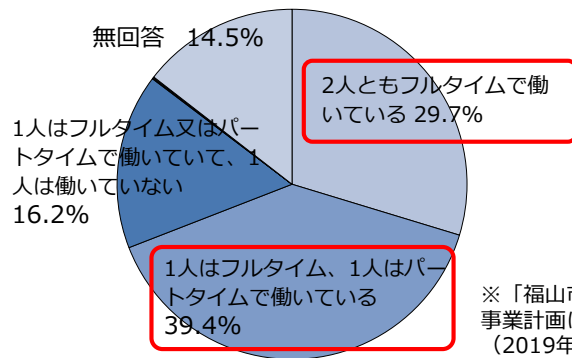
※「市政に対するニーズ把握のための定量調査」(2018年)から福山市在住、既婚の回答者を集計

## 父親が家事・育児に参加しない要因



※2019年子育てパパ活躍ウィーク参加者へのアンケート調査から(複数回答)

## 1年以内に希望する就労状況



※「福山市子ども・子育て支援事業計画に関するニーズ調査」(2019年)から

## 福山市在住 世帯主25~39歳

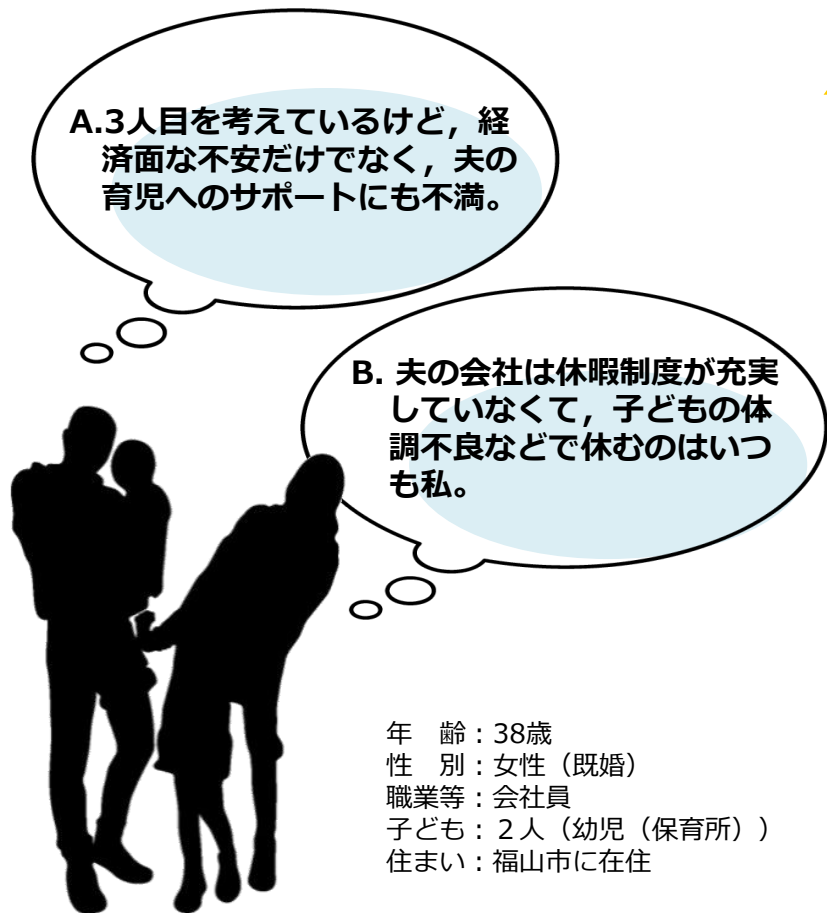
		世帯	
核家族世帯	専業主婦(夫)	17.9%	5,779世帯
	共働き	25.7%	8,296世帯
単独世帯	子どもあり	11.5%	3,710世帯
	子どもなし	7.1%	2,305世帯
その他	女親 子どもあり	0.4%	140世帯
	男親 子どもあり	33.1%	10,702世帯
合計		4.3%	1,370世帯
		100%	32,302世帯

※「平成27年国勢調査就業状態等基本集計」などを基に推計

# 【重点】ペルソナ⑤ 子育て共働き女性

3人目を考えている25～39歳  
子育て中の共働き女性

## 子どもの成長に“幸せ”を感じる



詳細

### 子育てサポートの充実

#### ○ 福山ネウボラの運営

- ネウボラ相談窓口（市内13か所）を核とした妊娠期～子育て期まで切れ目なく支援する体制の強化

#### ○ 子育てパパの育児参加促進 官民連携

- 子育て男性が積極的に育児参加できるよう、市内企業と連携し、子育てパパ活躍ウィークなどを実施
- 子育て情報誌において、男性の育児休業や子育てにやさしい企業の情報を発信（「イク男さん奮闘記」の連載）

#### ○ 企業・地域のマッチング支援 官民連携

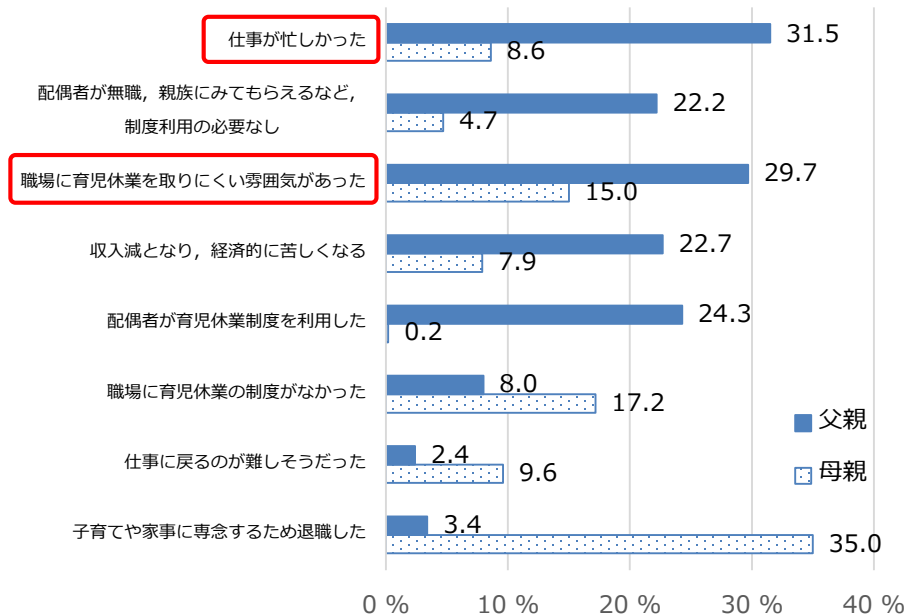
- 「地域貢献を検討する企業」と「人材・資金などに課題を抱える地域」のマッチングを支援
- 企業や地域が連携した取組の実施・情報発信

福山市在住 世帯主25～39歳

		世帯	
核家族世帯	夫婦	子どもあり 専業主婦（夫）	17.9% 5,779世帯
		子どもあり 共働き	25.7% 8,296世帯
	子どもなし	11.5% 3,710世帯	
	女親 子どもあり	7.1% 2,305世帯	
単独世帯	男親 子どもあり	0.4% 140世帯	
	合計	33.1% 10,702世帯	
その他	合計	4.3% 1,370世帯	
		100% 32,302世帯	

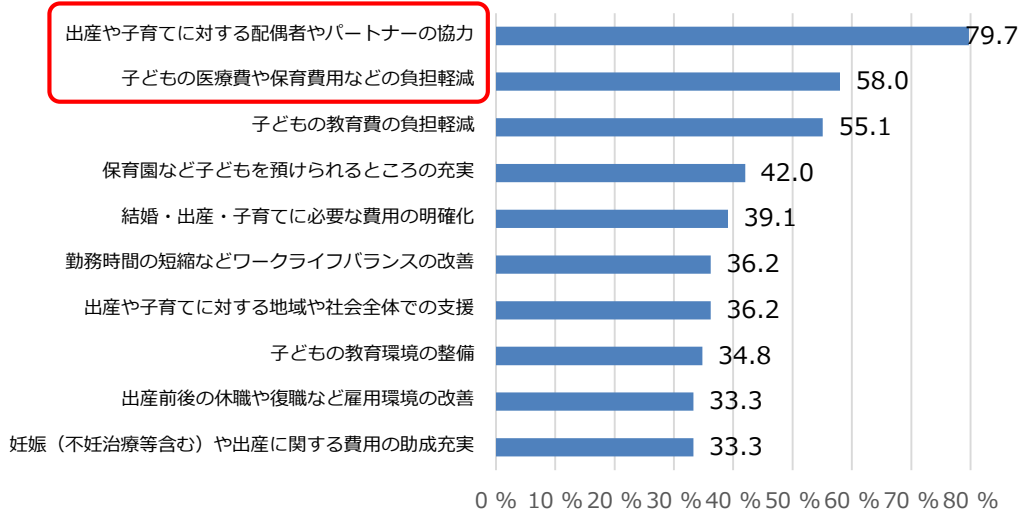
※「平成27年国勢調査就業状態等基本集計」を基に推計

育児休業を取得していない理由



※「福山市子ども・子育て支援事業計画に関するニーズ調査」（2019年）から

理想の子どもの人数をもつための条件（上位10項目）



※「市政に対するニーズ把握のための定量調査」（2018年）から  
福山市在住、既婚の回答者を集計

ペルソナの声

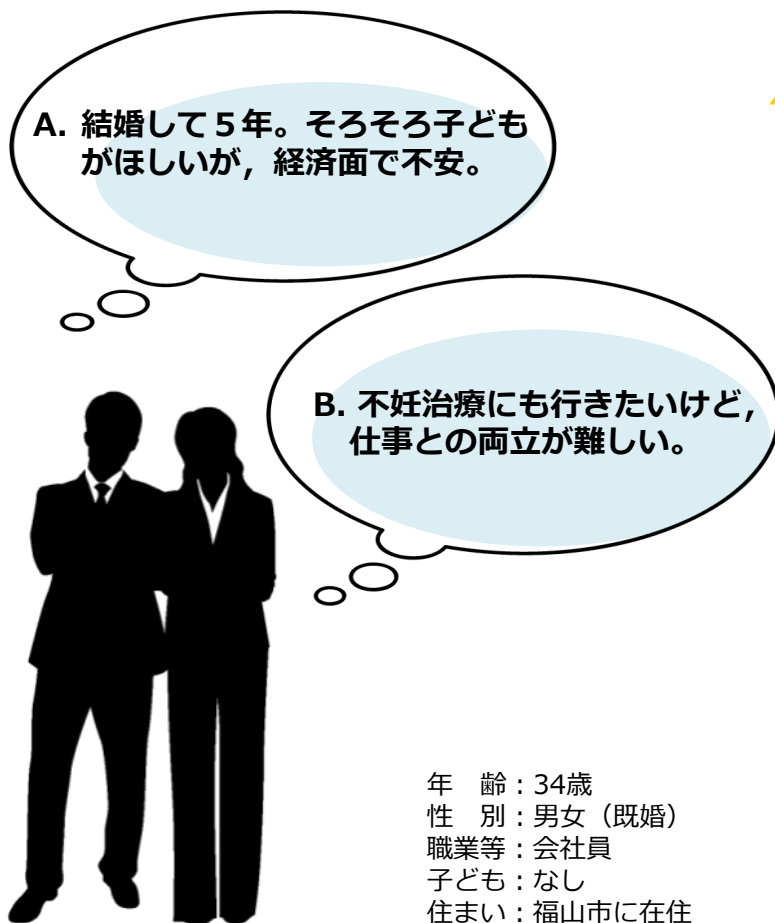
- 配偶者の子育てサポートについて
  - ・子育てには関わってくれるが、もう少し自主的に関わってほしい。
- 配偶者の職場の休暇制度について
  - ・毎日仕事から帰ってくるのが遅いので、実質ワンオペ状態でしんどい。
  - ・休暇制度は充実しているが、制度を使いにくい雰囲気があり、自分が仕事を休むことが多い。

※ペルソナモニターインタビュー（2019年7月）から

# 【重点】ペルソナ⑥ 共働き夫婦(子どもが欲しい)

妊娠を希望している25~39歳  
共働き夫婦

## 妊娠・出産・子育ての“不安解消”



### 子育てにかかる負担の軽減

#### ○ 不妊治療・不育症治療費の助成

- 医療機関における一般不妊治療や特定不妊治療、不育症治療に係る自己負担額を一部助成し、妊娠を希望する夫婦の経済的負担を軽減

### 妊娠と仕事の両立支援

#### ○ 不妊治療と仕事の両立支援

- 不妊治療と仕事が両立できる職場環境づくりに向けて、企業への周知啓発を実施

#### ○ 女性の働く環境改善補助

- 企業の就業規則改正に係る専門家への相談や設備改修費の補助を通じて、女性が働きやすい職場環境づくりを推進

詳細

福山市在住 世帯主25～39歳

			世帯		
核家族世帯	夫婦	子どもあり	専業主婦（夫）	17.9%	5,779世帯
			共働き	25.7%	8,296世帯
	子どもなし		11.5%	3,710世帯	
単独世帯	女親	子どもあり		7.1%	2,305世帯
	男親	子どもあり		0.4%	140世帯
その他				33.1%	10,702世帯
合計				4.3%	1,370世帯
				100%	32,302世帯

※「平成27年国勢調査就業状態等基本集計」を基に推計

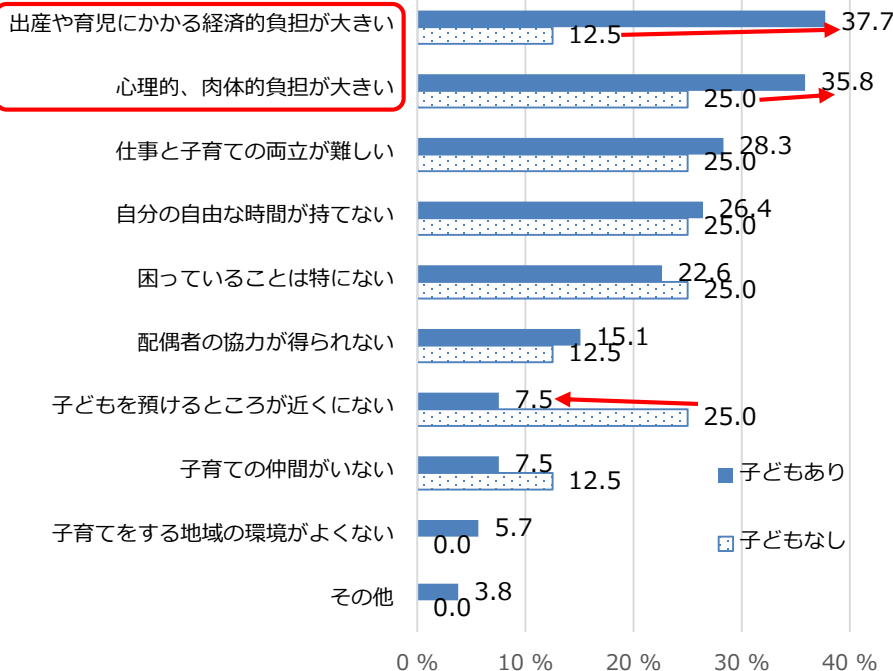
5.5組に1組

不妊の検査や治療を受けたことがある（または現在受けている）夫婦は**5.5組に1組**（全体で18.2%）  
（出所：国立社会保障・人口問題研究所「2015年社会保障・人口問題基本調査」から）

95.6%

仕事をしながら不妊治療を経験したことのあ  
る人のうち**95.6%**が「**両立は困難**」  
（出所：特定非営利活動法人Fine（ファイン）「仕事と不妊治療の両立に関するアンケート」（2017年）から  
（<http://j-fine.jp/>））

子育てをする上での不安や悩み（子どもの有無での比較）



※「市政に対するニーズ把握のための定量調査」（2018年）から福山市在住、既婚の回答者を集計

理想の子どもの人数をもつための条件（子どもがいない既婚者）



※「市政に対するニーズ把握のための定量調査」（2018年）から福山市在住、既婚、子どもなしの回答者を集計

# ペルソナ⑦ シングルマザー

二人の子どもを育てている25～39歳  
シングルマザー

## “社会”で子育てをサポート

### 子育てにかかる負担の軽減

#### ○ 子どもの医療費助成

- 中学生までの子どもの保険診療にかかる自己負担の一部を助成

#### ○ 病児・病後児保育施設の拡充

- 回復期を含む病気の状態にある児童について、市内の医療機関に付設する保育室での一時預かりを実施
- 保育施設での病後児保育の実施

#### ○ 子どもの生活・学習支援

- ひとり親家庭（児童扶養手当受給者）等の子どもに対する学習支援・進路相談・生活指導を実施

A. 子育てや教育にお金がかかる。  
悩みが多いが、頼れる人が  
近くにいないくて不安。

B. 子どもが病気になったとき  
休みが取りやすい職場で働  
きたい。



年 齢：30歳  
性 別：女性（未婚（離婚））  
職業等：会社員  
子ども：2人（小学生・幼児（保育所））  
住まい：福山市に在住（賃貸住宅）

詳 細

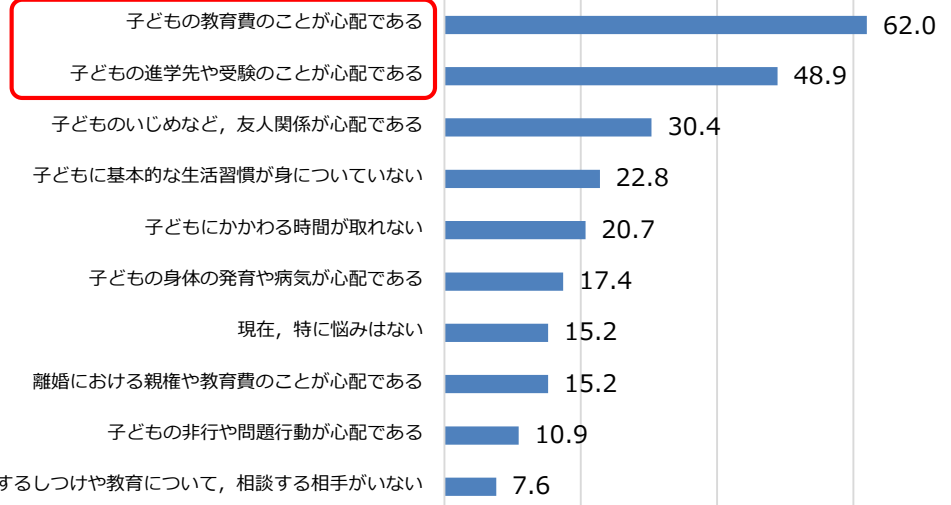


福山市在住 世帯主25～39歳

			世帯	
核家族世帯	夫婦	子どもあり 専業主婦(夫)	17.9%	5,779世帯
		子どもあり 共働き	25.7%	8,296世帯
	子どもなし		11.5%	3,710世帯
	女親	子どもあり	7.1%	2,305世帯
単独世帯	男親	子どもあり	0.4%	140世帯
	単独世帯		33.1%	10,702世帯
その他			4.3%	1,370世帯
合計			100%	32,302世帯

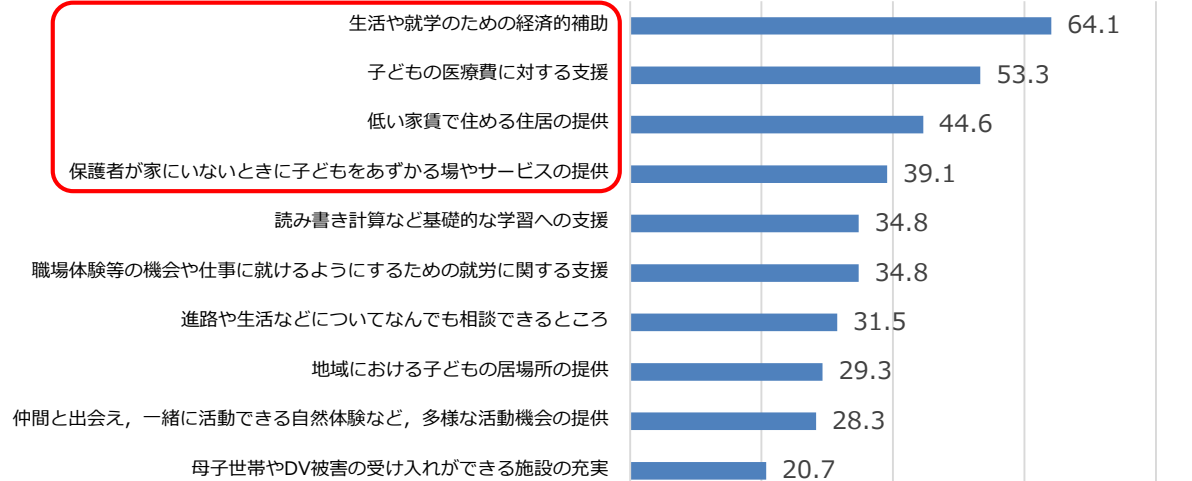
※「平成27年国勢調査就業状態等基本集計」を基に推計

子どもについて悩んでいること(上位10項目)  
(生活困難層のひとり親世帯, 小学5年生保護者)



※「福山市子どもの生活実態調査」(2018年)から 0% 20% 40% 60% 80%

将来的に必要と思う支援(上位10項目)  
(生活困難層のひとり親世帯)



※「福山市子どもの生活実態調査」(2018年)から 0% 20% 40% 60% 80%

# ペルソナ⑧ 移住希望未婚男女

地方への移住を考えている  
25～39歳 未婚の会社員

## 福山で働く・暮らすを“体験”

A. 住む場所を制限されない働き方を実現したいが、イメージが湧かない。

B. 地域での人間関係や地元企業とのコネクションがなく不安。

年齢：30歳  
性別：男女（未婚）  
職業等：会社員  
（クリエイティブ（IT・デザイン）系）  
子ども：なし  
住まい：首都圏・関西圏に在住（賃貸住宅）

### 多様な働き方の推進

#### ○ ワークेशनふくやま

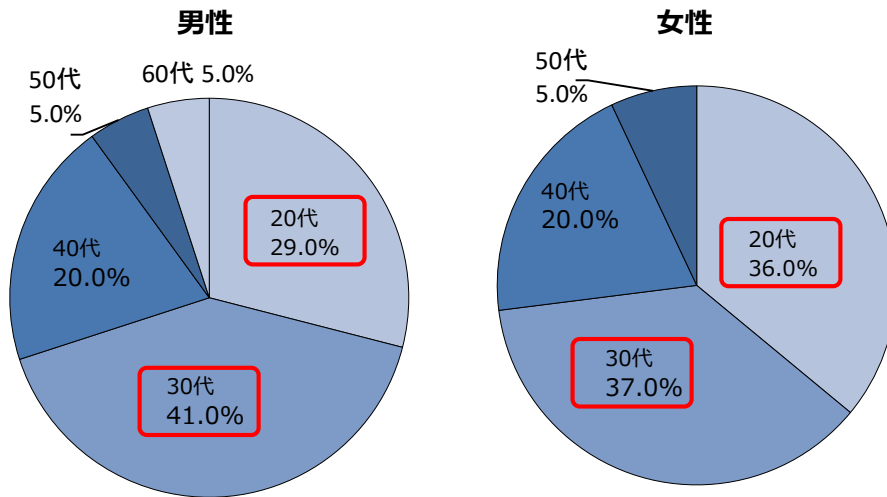
- 首都圏等のクリエイティブ人材などに対して、福山で働く・暮らす・交流する場を提供
- 福山暮らしの魅力を首都圏等に発信し、首都圏人材の更なる還流を推進

#### (2019年度のモデルケースにおける課題等を踏まえた事業構築)

- (1) 協力企業との受入体制構築（宿泊先、働く場など）
- (2) 体験者誘致に向けたプロモーション
- (3) 市内企業や地域との連携  
（新たなビジネスの構想や地域課題の解決）

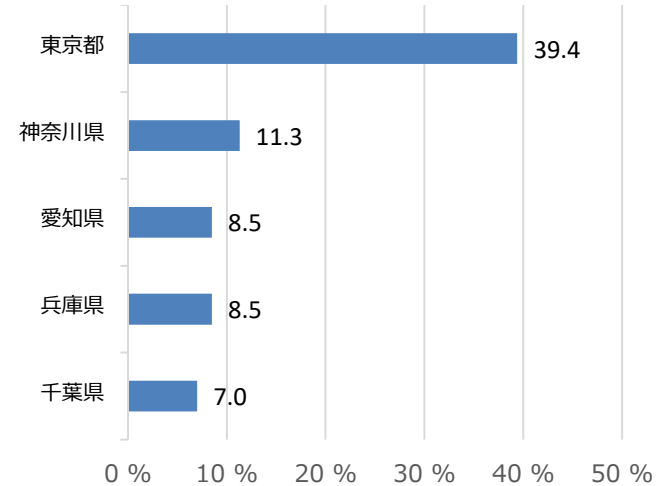
詳細

ワーケーションを実践したい年代



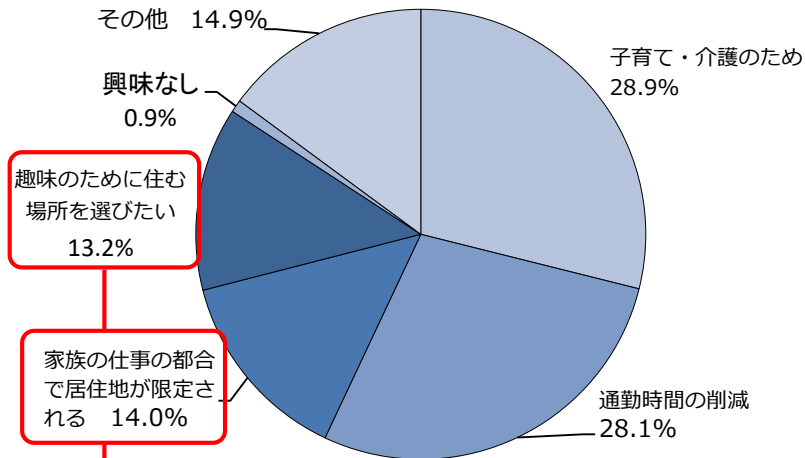
※出所：(株) アドリブワークス/WORKATORS調べ (2019年)

ワーケーションの実践希望者の居住先 (上位5都道府県)



※出所：(株) アドリブワークス/WORKATORS調べ (2019年)

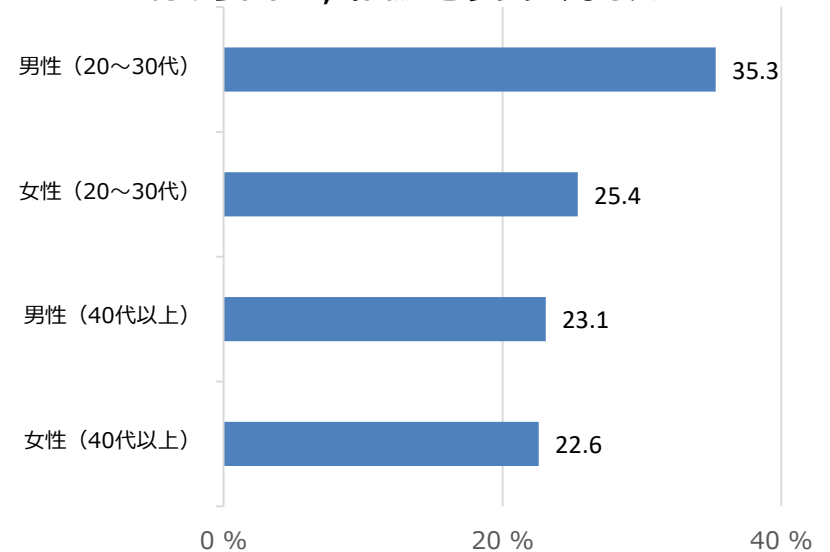
リモートワークを実施したい理由



約3割の人が「住む場所に制限されない働き方」を希望

※出所：GOWiDE調査 (2019年)

プライベートの旅行先でする仕事が業務として認められれば、休暇がとりやすくなる人



※出所：(株) JTB総合研究所「進化し領域を拡大する日本人の国内旅行」 (2019年)

# ペルソナ⑨ 移住希望既婚男性

一家で移住を考えている25～39歳  
既婚の男性会社員

## 移住者が“暮らしたい”まち

A.自然豊かな環境で子育てをしたいが、待機児童や地方の教育環境が不安。

B.地元で家を持つことや親の介護など、将来設計を考えないと。

C.関西圏の企業に就職したけど、自分のスキルを地元の企業で活かしたい。



年齢：37歳  
性別：男性（既婚）  
職業等：会社員  
子ども：2人（幼児（保育所）・乳幼児）  
住まい：備後圏域出身（Uターン希望）  
関西圏に在住（賃貸住宅）

詳細

### 子育て・教育・生活環境の充実

#### ○子ども主体の学びの推進

- 教科・学年の横断的な教育課程の編成，福山ティーチャーズ・アカデミー等を通じた子ども主体の学びの推進

#### ○移住者等住宅改修費補助

- 市内の中古住宅を購入・改修する移住希望者及び定住希望者に対して改修費の一部を補助

### 移住促進策の強化

#### ○民間ビッグデータを活用した移住促進

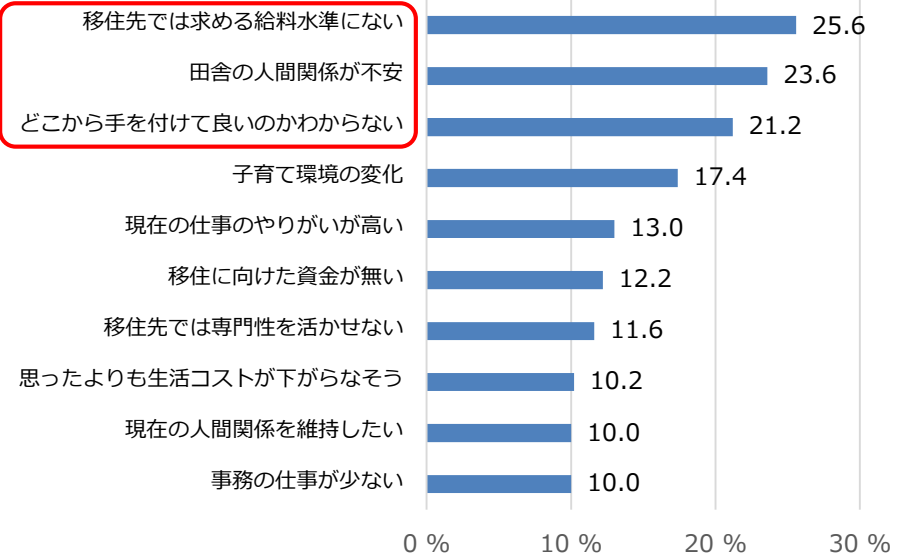
- 民間ビッグデータを分析し，ターゲットを明確化した上で，移住ターゲットに応じたWeb広告を発信することで移住行動を促進

関西圏在住 25～39歳 福山市出身者

				男性	女性	合計			
未婚	就業者 (主に仕事)	移動の可能性が少 しでもある	転勤以外	13.6%	770人	14.7%	873人	14.1%	1,643人
			転勤	3.9%	223人	0.9%	55人	2.4%	278人
		移動の可能性がない	19.1%	1,084人	16.3%	967人	17.7%	2,051人	
	その他	12.8%	727人	10.4%	615人	11.6%	1,342人		
既婚	就業者 (主に仕事)	移動の可能性が少 しでもある	転勤以外	11.1%	632人	29.8%	1,771人	37.3%	4,336人
			転勤	4.4%	249人	29.8%	1,771人	37.3%	4,336人
		移動の可能性がない	29.7%	1,684人					
	その他	5.4%	306人	27.9%	1,654人	16.9%	1,960人		
合計				100%	5,675人	100%	5,935人	100%	11,610人

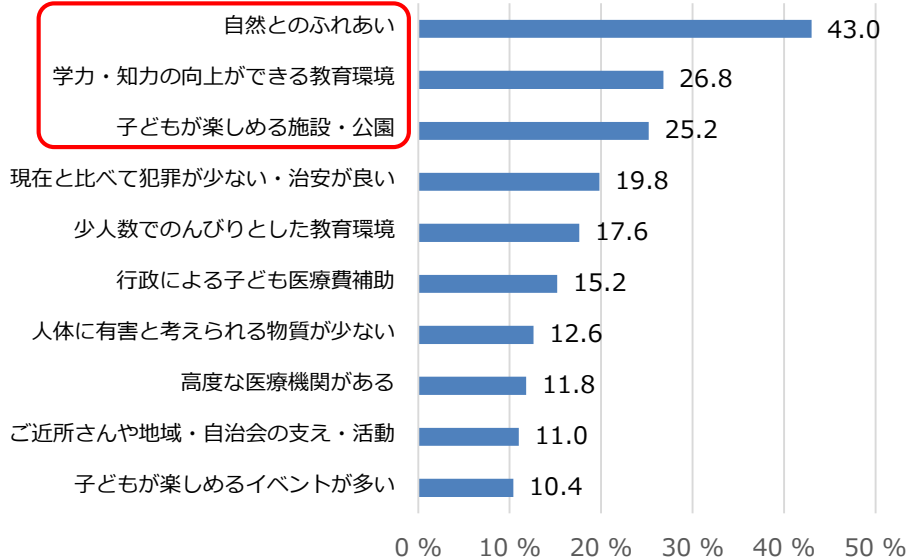
※「平成27年国勢調査就業状態等基本集計」などを基に推計

地方への移住を妨げている要因（上位10項目）



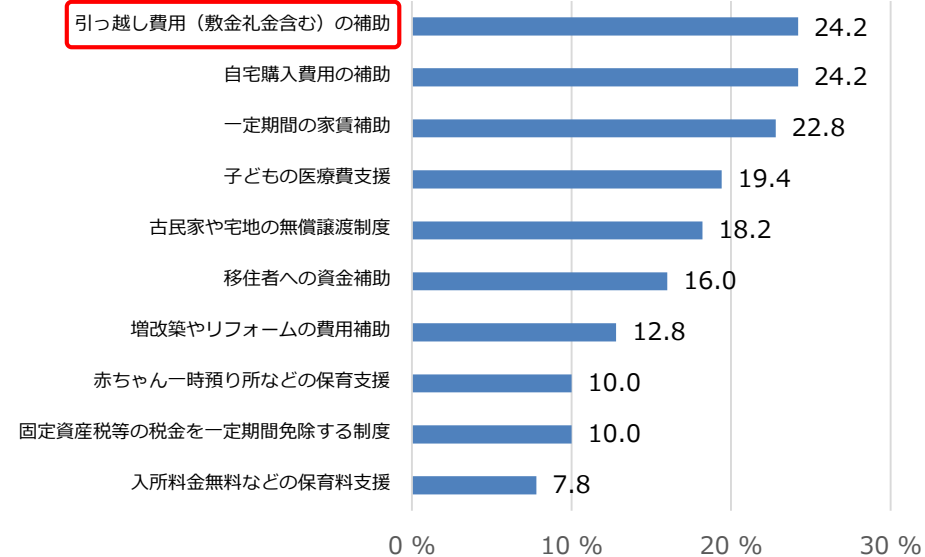
※出所：（一社）移住・交流推進機構「若者の移住」調査から作成

移住先の子育て環境で重視する条件（上位10項目）



※出所：（一社）移住・交流推進機構「若者の移住」調査から作成

移住希望者が移住先に望む制度（上位10項目）



※出所：（一社）移住・交流推進機構「若者の移住」調査から作成

# 政策ターゲット(ペルソナ)ごとの成果目標

ペルソナ	2021年度 成果目標
<b>【重点】</b> ペルソナ① 高3進学女子	○将来、福山市に戻ってきたいと思う高3進学女性の割合：60.0%（2019年度 42.2%） ○高校3年生の市内企業の認知度：60.0%（2019年度 43.7%）
ペルソナ② 高3就職男子	○高校生の地元就職率：75.0%（2017年度 71.0%）
<b>【重点】</b> ペルソナ③ 就活大学生	○20歳～24歳の男女転出入数：±0人（2017年 249人転出超過）
ペルソナ④ 子育て専業主婦（夫）	○女性の就業率（30歳～34歳配偶者あり）：70.0%（2017年 61.5%）
<b>【重点】</b> ペルソナ⑤ 子育て共働き女性	○子どもの成長に幸せを感じる共働き女性の割合：100.0%（2019年度 99.2%） ○自分の時間が持てると回答した女性の割合：100.0%（2019年度 82.8%） ○男性の育児休業取得率：10.0%（2014年 1.7%）
<b>【重点】</b> ペルソナ⑥ 共働き夫婦（子どもが欲しい）	○（ふくやまワーク・ライフ・バランス認定事業者のうち）女性従業員の妊娠に対する配慮を行っている企業の割合：65%（2018年度 43%）
ペルソナ⑦ シングルマザー	○児童扶養手当受給者における全部支給者の割合：50%（2017年度 51.2%）
ペルソナ⑧ 移住希望未婚男女	○25歳～39歳の男女転出入数：50人転入超過（2018年 20人転入超過）
ペルソナ⑨ 移住希望既婚男性	○福山市への移住意向：20.0%（2015年 12.7%）

# ○2020年度 ペルソナに対する施策一覧

ペルソナ					事業名	予算額（千円）	担当課
1	2				若年者雇用対策事業（出前講座）	868	産業振興課
1	2				高校生会議	230	青少年・女性活躍推進課
1	2				グローバル人材育成事業	1,023	福山中・高等学校
1	2				キャリアデザイン×ライフデザインの支援	—	青少年・女性活躍推進課ほか
1					産学官連携調査研究事業（市立大学とソフトバンクとの連携）	—	市立大学学務課
1	3				官民協働留学支援事業（トビタテ！留学JAPAN）	10,247	まちづくり総務課
1					市外大学への通学支援	15,000	企画政策課
1					道路空間活用促進事業	38,000	福山駅前再生推進室
1	5				公園等利活用促進事業	2,000	福山駅前再生推進室
1	3	5	6		産学官連携調査研究事業 （ペルソナマーケティングを題材とした共同研究等）	4,533	企画政策課
2					企業見学バスツアー	600	産業振興課
2					ゲンバ男子	—	産業振興課
3					地元企業と若者の交流促進事業（企業研究会）	1,800	産業振興課
3					サマーツアー	1,800	産業振興課
3	9				市内企業への就職応援事業	500	産業振興課
3					福山市企業立地促進条例に基づく助成制度	—	企業誘致推進課
3	4	5	6	7	経営者意識改革支援事業	500	企画政策課
3	4	5	6	7	【国事業】働き方改革相談窓口の設置	—	産業振興課



ペルソナ					事業名	予算額（千円）	担当課
3	4	5	6	7	健康経営促進セミナーの開催	—	企画政策課ほか
3	4	5	6	7	ふくやまワーク・ライフ・バランス認定	193	産業振興課
3	1				福山駅前デザイン会議等の運営	24,931	福山駅前再生推進室
4					女性向け合同企業説明会	1,660	産業振興課
4					女性活躍推進事業	500	産業振興課
4					【県事業】ネウボラ運営事業（就労・再就職支援）	—	ネウボラ推進課
4	5	6	7	9	子育て支援情報の発信（アプリ、HP）	2,460	ネウボラ推進課
4	5	7			子育てにやさしい企業の発信	—	産業振興課
5	4	7	9		ファミリー・サポート・センター事業	10,371	保育課
5	4	6	7	9	ネウボラ運営事業	77,030	ネウボラ推進課
5	4	7			休日保育事業	—	児童部庶務課
5	4	7			保育補助者雇上強化事業	302,572	児童部庶務課
5	4	7			保育士資格取得支援事業	2,000	児童部庶務課
5	4	7			保育士確保促進事業	10,000	児童部庶務課
5	4				子育てパパの育児参加促進	—	企画政策課ほか
5	4	7			企業・地域のマッチング支援	3,992	企画政策課ほか
5	1	4	7		中央公園Park-PFI事業	7,200	公園緑地課
6					不妊治療費助成事業	102,249	健康推進課
6					不育症治療費助成事業	6,015	健康推進課
6					風しん抗体検査事業	6,308	保健予防課
6					不妊治療と仕事の両立支援（待っててbabyサポート）	—	産業振興課ほか

ペルソナ					事業名	予算額（千円）	担当課
6	3	4	5		女性の就業環境改善に対する補助	3,700	産業振興課
7					子育て世帯向け住宅改修事業（市営住宅の改修）	13,000	住宅課
7					就学援助	—	学事課
7					子どもの生活・学習支援事業（ひとり親家庭等子どもの生活・学習支援事業）	14,104	ニューボラ推進課ほか
7					放課後児童クラブの全クラブ・全学年実施	—	ニューボラ推進課
7	5	6			子どもの医療費助成	668,900	ニューボラ推進課
7	5				病児・病後児保育事業	54,011	児童部庶務課
8					ワーケーション推進事業（ワーケーションふくやま）	7,000	企画政策課
9					首都圏人材還流拠点創出事業	1,000	企画政策課
9					関係人口創出事業	807	企画政策課
9					高度専門人材活用推進事業（プロフェッショナル人材の活用）	12,681	企画政策課
9					小学校「学びづくりフロンティア校」事業	123	学びづくり課
9					中学校「教科の専門性パワーアップ」事業	4,320	学びづくり課
9					学力の伸びを把握する調査	—	学びづくり課
9					小中一貫教育推進事業	144,831	学びづくり課
9					芸術文化体験事業	4,000	学びづくり課
9					「学びを拓く学校図書館」充実プラン	23,000	学びづくり課
9					ICT教育機器整備事業（（中学校費）教材教具等整備費）	163,750	教育総務課
9					民間ビッグデータを活用した移住促進策	3,500	企画政策課
9					移住者等住宅改修費補助	3,000	住宅課